

全国的に高齢化が進んでいて、橋本市も高齢化進んでいます。そんな中、これからも安心して橋本市での暮らし（生活）が続けられるようにするためには、いざという時に駆けつけてくれたり、ちょっとしたお手伝いを頼めるような身近な地域の助け合いが必要です。

市では現在、市内10地区において地域づくりの基盤となる「協議体（井戸端会議）」を設置するための準備会を開催しています。

紀見北地区、紀見東地区で第2層協議体が発足しました！



（写真上）君来たひろばのメンバー。（写真右）紀見北地区では、5名の第2層生活支援コーディネーターが決定！今後はコーディネーターを中心に運営が始まります。



橋本市で6番目と7番目になる、第2層協議体が6月30日（土）紀見北地区で、7月24日（火）紀見東地区で発足しました。

昨年8月、紀見地区全体の準備会を開催したところ、人口規模や面積等の問題から全体で話を進めていくことは困難ということから紀見北地区と紀見東地区と公民館エリアで話し合うことになりました。何れも4回目の準備会で協議体発足となりました。

紀見北地区第2層協議体の愛称を「君来たひろば」とし、また、生活支援コーディネーター5名が決定しました。紀見東地区では、次回、愛称とコーディネーターを決める予定です。何れも、生活圏の違い等から「同じ地区と一つでくくっても、それぞれ生活の課題が違う」「どんな活動ができ

るのか」という声があります。

身近な地域の中での助け合い・支え合活動や高齢者の社会参加による健康寿命や介護予防の増進は地区にあったやり方が大切だと思います。全戸まとまって行うことは無理でも有志のグループを作ったり、みなさんが関心のあることから始めたり、既に地域にあるコミュニティを発展するなど千差万別。そうした地域の情報を協議体で自由に話し合しましょう。協議体は多様なメンバーが集まって、身近な地域の情報（どんな情報にするか協議体メンバーで話し合い）を持ち寄る井戸端会議です。



紀見東地区第2層協議体メンバー。

（裏面へ続きます）

橋本市生活支援体制整備事業 第2層（日常生活圏域）の基盤体制状況

(平成30年8月13日現在)



つなごろう橋本

平成30年3月8日発足

区長、老人クラブ、民生、サロン等のみなさんが2か月に1回集まって話し合っています。地域の宝物探し等、地域の情報を持ち寄っています。

協議体設立に向けた
準備会開催中

SC

生活支援コーディネーターが決定している地区。
SCとは、生活支援コーディネーターの略称です。



君来たひろば

平成30年6月30日発足

区長、民生、サロン等のみなさんが2か月に1回集まって話し合っています。5名の生活支援コーディネーターが決まりました。

SC



紀見東地区第2層協議体

平成30年7月24日発足

区長、老人クラブ、民生、サロン、等のみなさんが2か月に1回集まって話し合っています。



たすけ合う隅田

平成30年2月14日発足

区長、老人クラブ、民生、サロン等のみなさんが1か月に1回集まって話し合っています。3名の生活支援コーディネーターを中心に運営されています。

SC



あったか恋し野

平成30年5月18日発足

区長、老人クラブ、民生、サロン等のみなさんが2か月に1回集まって話し合っています。3名の生活支援コーディネーターと事務局が決まりました。

SC

協議体設立に向けた
準備会開催中



ささえ愛 高野口

平成29年12月7日発足

区長、老人クラブ、サロン等のみなさんが2か月に1回集まって話し合っています。2名の生活支援コーディネーターを中心に運営されています。

SC

協議体設立に向けた
準備会開催中



たすけ愛 信太

平成30年2月8日発足

区長、サロン等のみなさんが2か月に1回集まって話し合っています。1名の生活支援コーディネーターを中心に運営されています。

SC

